

平成15年5月8日(木) 於 下諏訪総合文化センター

## 砥川改修計画原案の流域説明会における意見交換の概要

### [萩倉地区の方]

ダム対策委員会を県や町の求めに応じて設置し、協力してきた。設置する時には県から見えたのだから、ダム中止の報告にも来てはいただけないか。50年確率で沿川住民は本当に安心できるか。流域対策を含めずに国交省の認可が得られるか。100年に1度の確率は甘受すべきだ、という意見が砥川部会では聞かれたが、そういう考えをお持ちか。

### [小市土木部長]

検討委員会では、対象雨量の選び方についてもさまざま議論された。雨の選び方で想定流量が大きく変わる。200トンでも100年確率という見解もある中で、基準を満たす50年確率、220トンという値に定めたもの。国の認可を得られるかどうかは、一に、地域の皆様のご理解を得られるかにかかっている。流域対策全てを固めてからとなれば、すぐには着手できなくなる。出来る所から少しでも安全度を高めていくことができるよう、ご理解をお願いしたい。

### [萩倉地区の方]

その計画流量で住民の安全を担保できるのか、それとも「甘受しろ」なのか。

### [小市土木部長]

「甘受しろ」ではない。地域の皆さんの選択にかかること。段階的に安全度を高めていこうという方針をご理解いただきたい。

### [田中知事]

前段のご要望については承り、検討させていただきたい。

### [東境地区の方]

橋2つの架け替えには感謝。橋脚なしで新築されるものと期待している。砥川は改修されてもすぐに堆砂する。堆積土砂の保守管理基準を設けるべき。ダム計画時は蝶ヶ沢(東俣川)のデータが流量の基準であったが、今後は医王渡橋を基準とするのか。また、対策推進本部が発足してから情報の開示が減ってきたように思うが。

### [小市土木部長]

橋については、ご意見も尊重して詳細に計画していきたい。土砂対策の必要性は答申にもうたわれている。下流へ土砂をなるべく出さないこと、たまった土砂はこまめに維持管理することを基本にしていきたい。流量観測施設は昨年より増設しており、全体の流域検討に最も適した解析方法を考えていく。基準点は医王渡橋となる。

### [田中知事]

流域協議会においては、皆様にすべての情報を開示して、ご一緒に議論させていただく形になる。

### [山岸地区の方]

医王渡橋付近で、何かの施設が作られたり、地質調査のようなことがなされていたが、何なのかわか

らない。そうした小さなことでも、町の住人に何をやっているかわかるようにしてほしい。砥川右岸の地質は崩れて当たり前。土砂が流れてきて当たり前。支流も含めてかなり土砂防止施設があるが、用をなしていないのでは。下流へ土砂が流れない対策をぜひ。今年の砥川の工事費を教えてください。また、浮島上流の堰堤を魚道型に変えてから、下流へ土砂が流されるようになり、浮島の侵食が著しい。

#### [北原謙訪建設所長]

医王渡橋下流には流量観測施設を3月までに作った。また、7つの橋の根がどの深さまで入っているかを調査した。今後はこのような小さな仕事についても、町を通じてつづさにご連絡したい。今ある堰堤の状況、浮島上流の問題等は今後、流域協議会で土砂対策も併せて検討していく中で、調査していきたい。今年には河床整理の予算を確保しているが、土の取り方など皆様と協議する中で、経費も決まってくる。決まり次第お知らせしたい。

#### [東山田地区の方]

土砂対策は本当に深刻な問題。治水計画以前の問題。また、検討委員会において、答申を出すまでには大変なエネルギーを費やしたが、すべて100年確率という前提での議論であった。50年確率の計画で整合が取れるのか。できる所から、というが、まず100年の計画がはっきりしていなければ、手戻りが生じるのではないかと。国の認可も得られないのでは。そのためにこそ苦勞を重ねて出した答申を尊重し、100年確率の計画をまずきちんとすべき。掘り下げが主だが、用水の取り入れは、また地下水水位への影響は。岡谷市からの日量1万トンの取水要望に応じた場合、ダムによらずして維持流量が確保できるのか。

#### [小市土木部長]

砥川は地質上、流出土砂が非常に多い。既設の砂防ダムの現況も調査し、必要な土砂対策を検討していきたい。また、今回定めた「枠組み」は、あくまで改修80%プラス流域対策20%で100年確率をめざしている。流域対策分はメニューが非常に多岐にわたる。知事の意向で森林整備による流出抑制もスタートする。これらは鋭意検討を進めながら、まずできる所から50年確率の改修を始めようということ。改修にあたっては、極力用地買収も最小限に抑え、ご理解を得られるよう努力した計画。ぜひ先行して改修を進めながら、流域対策分の検討を確実に進めたいと考えている。用水の取り入れについては、付け替えを計画に入れている。地下水水位については、掘り下げ深さが決してそう大きくはなく、また護岸も整備されるので、大きな影響は与えないだろうと想定しているが、必要であれば地下水調査も実施したい。

#### [北原謙訪建設所長]

上流部では河川事業と治山事業を合わせて荒廃対策を実施するなど、対応できる所から始めている。

#### [青山出納長]

岡谷市とは新規水源に関して協議を始めている。16年度には再度、市で需要予測を見直すことになっている。今の予測では平成19年、24年に水不足となるが、19年の不足量はせいぜい千トン。当面必要な量としては1万トンもなく、いきなり砥川から失われるわけではない。当面の問題と長期的な問題を分けて検討していきたい。

### [東山田地区の方]

流域対策、具体的には、遊水地はどこにつくるのか。森林整備でどのくらい保水力が高まるのか。具体策がなければ改修案も判断できない。

### [小市土木部長]

今いろいろな角度から検討している。定量化には一定の時間がかかる。全ての策が出揃わなければ、というお考えもわかるが、現実的に治水安全度を少しずつでも高めていく、という方策もご理解いただけないか。

### [田中知事]

最初にダム中止となった薄川流域では、国ともタイアップして、既に森林整備を始めている。下諏訪町長からも、森林整備前後の流量調査など、モデルとなるような事業のご提案をいただき、みどりのダム調査研究として取り組むお約束をしている。

### [武居地区の方]

実際に下流にどのくらい土砂がたまっているのか。土石流地帯の実態、地質の状況は。諏訪かくしに郡内10年分の汚泥が埋まっているが、囲じょう堤が崩れれば汚泥はすべて東俣川へ流れ込む。その辺の実態は。新和田トンネルの湧水に関して、和田村にも水利権があるという取り決めがあるのか。

### [北原諏訪建設所長]

清水橋附近では、護岸の根を継ぎながら浚渫を行っている現状を考えれば、土砂はそうたまってはいないと考えられる。また、土石流危険渓流調査が出来上がっているので、所に来ていただければご開示したい。諏訪かくしについては、今も絶えず浸出水の水質チェック、囲じょう堤の変状チェックを行っているので、ご安心いただきたい。

### [小市土木部長]

トンネルの勾配からは湧水は全部下諏訪側へ流れてくるが、分水嶺より和田村側もあるので、緊急湯水時には和田村でも利用できるよう取り決めはしてあり、和田村へ送れるようポンプも設置してある。しかし今まで和田村で水を取った実績はない。湧水量のきちんとした観測も始めており、データを把握した上で、今後の利用法を検討していきたい。

### [東山田地区の方]

伊勢湾台風の時、諏訪湖は各河川から流れ込んだ流木でいっぱいになったが、砥川からは木は流れなかった。土石流の大きな被害も、これまでにはない。ただ、今後はわからない。砂防ダムはほとんど埋まっている。支川・福沢川に造っていただいた砂防ダムには、地元も感謝している。砥川本川にもぜひ土砂対策をお願いしたい。

### [赤砂地区の方]

まず改修を行い、少しずつでも安全度を高めるという考え方には大いに賛成。理にもかなっていると思う。来年といわず、今年からでもお願いしたい。何年か前も決壊寸前まで水が出た。砥川堤防と隣の十四瀬川堤防に挟まれた低地のため、浸水の不安は大きい。引き堤して護岸もしっかり造ってもらえば安心できる。周囲の堤防が高いため、水はけは悪い。できれば、堤防はあまり高くしないでほしい。

**[東町上地区の方]**

山の神では毎年20cmくらいずつ河床が下がっていると思うが、岩盤のため砂防工事はしないと聞いた。河床が下がる分、その土砂は下流へ流されるのでは。また、浮島上流をテトラポットのような物で守っているが、川幅をせばめ逆効果では。改善した方がよい。

**[小市土木部長]**

土砂対策、土砂管理方法を十分検討していきたい。新しく造ることと同時に、今ある施設を活かす方法も考えたい。河口附近の引き堤計画については、十四瀬川との関係も考えながら、よりよい計画になるよう詳細設計を行っていきたい。

**[北原諏訪建設所長]**

山の神、浮島上流については、後日現地を見させていただき、検討したい。